

(第3回キャリア教育アワード)

**障がいのある子どもたちに向けた  
特別支援学校等へのキャリア教育支援活動**

**2013年2月19日  
シャープ株式会社  
法務本部 CSR推進室  
澁谷明典**

# 1. 会社概要

## シャープ株式会社

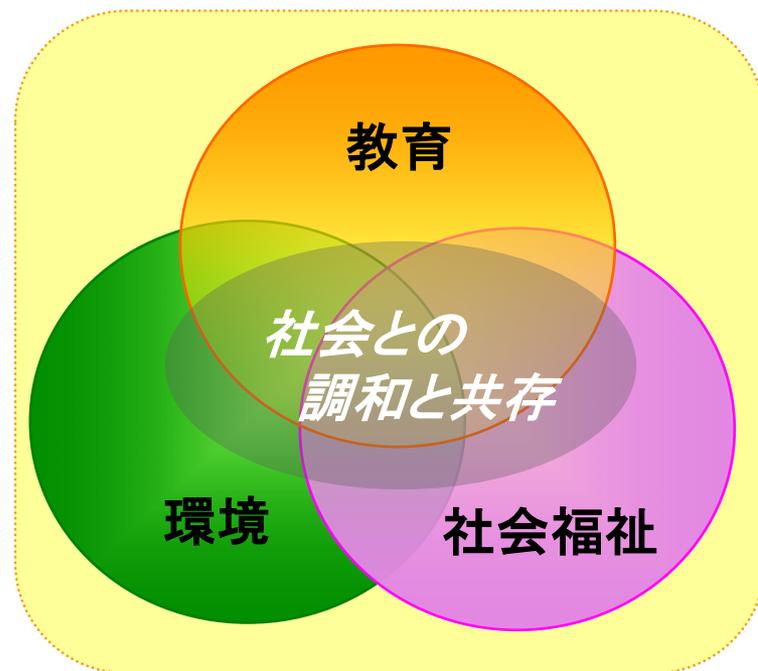
- ・本 社 大阪市阿倍野区长池町
- ・創業者 早川徳次
- ・代表者 代表取締役社長 奥田隆司
- ・事業内容 エレクトロニクス・デバイス等の製造・販売
- ・資本金 2,046億円 (※2012年3月期)
- ・売上高 2兆4,558億円(連結) (※2012年3月期)
- ・社員数 グループ総人員 59,800名 (※2012年12月末現在)  
(国内:27,900名、海外:31,900名)

- 歴史 1912 創業
- 1924 「早川金属工業研究所」設立
- 1942 「早川電機工業株式会社」に社名変更
- 1950 「(合)特選金属工場」を設立
- 1970 「シャープ株式会社」に社名変更

## 2. 社会貢献としての教育支援活動について

### (1) 社会貢献の考え方

シャープは「広く世界の文化と福祉の向上に貢献する」との経営理念のもと、企業市民として、さまざまな社会的課題に対し、「環境」「教育」「社会福祉」を重点分野と定め、社会との調和と共存をめざし、グローバルな視点をもって、地域に根ざした社会貢献活動を推進しています。



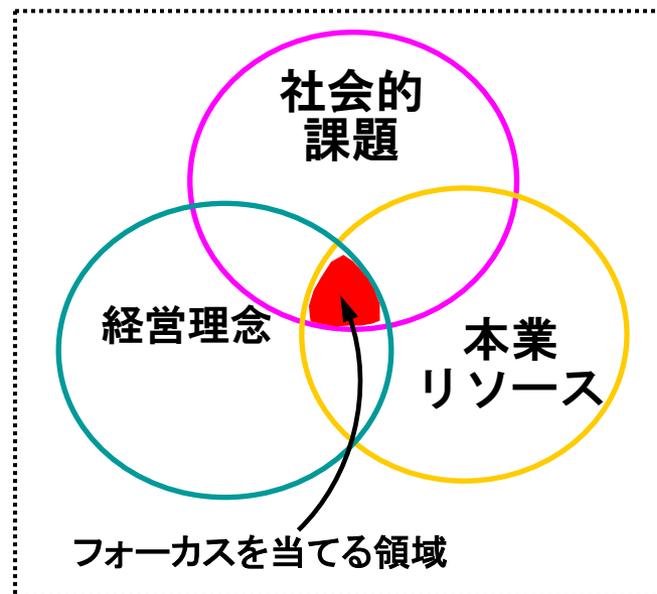
### 経営理念

いたずらに規模のみを追わず、  
誠意と独自の技術をもって、  
広く世界の文化と福祉の向上に貢献する。  
会社に働く人々の能力開発と  
生活福祉の向上に努め、  
会社の発展と一人一人の  
幸せとの一致をはかる。  
株主、取引先をはじめ、  
全ての協力者との相互繁栄を期す。

## (2)教育支援活動の考え方

次代を担う子ども達へ、理科への関心を高めることや、職業観の醸成を目的に、さまざまな教育支援活動に取り組んでいます。

取り組みに当っては、教育現場のさまざまな課題に対し、会社のリソースを活用し、又、経営理念の具現化に繋がるよう推進しています。



# (3)教育支援活動の全体概要について

( )内は年間予定数、人



## (活動実績)

(延べ校、人)

	2012年度 4～1月		累計	
	実施校数	受講人数	実施校数	受講人数
特別支援学校へのキャリア教育	263	1,579	263	1,579
職場見学コース	156	843	156	843
職場体験実習コース	85	161	85	161
出前キャリア教育コース	22	575	22	575
聴覚支援学校環境教育	20	259	78	1,122
小学校環境教育	376	19,870	2,986	178,503
小学校ものづくり教育	92	2,769	376	12,630
工場見学&環境/ものづくり教室	75	3,478	153	7,557
海外環境教育	40	3,910	328	29,585
合計	866	31,865	4,184	230,976

# 3. 障がい者(生徒)への教育支援活動について

## (1) 活動の経緯と趣旨

社会的課題、会社のリソース、経営理念を踏まえた活動として全社的に推進。

### 社会的課題

- ・障がい者 実雇用率 1.69%  
(厚労省調べ2012/6/1現在)
- ・障がいのある子ども達の就労意識の希薄化  
(教員からの声)
  - ・学校だけでは生徒の職業観の醸成が難しい
  - ・障がい者と企業の接点が少ない
  - ・卒業生から話を聞く程度で組織だった取り組みが少ない

### 会社リソース

- ・日本で第1号の特例子会社の運営  
(シャープ特選工業)
- ・「小学校環境教育」をはじめとする教育支援活動スキーム

### 経営理念

- ・「世界の文化と福祉の向上に貢献する」という理念
- ・社会貢献として、「教育、福祉(障がい者支援)」への創業者の考えを踏襲

障がい者(生徒)へのキャリア教育支援

## (2)活動概要

障がいのある社員が働くシャープの特例子会社やNPOと協働し、障がいのある子ども達に向けたキャリア教育支援活動を実施。中高等部（職業観の醸成）、小学部（職業への気づき）それぞれの子ども達の年齢に応じた4つのプログラムを実施。

＜中高等部を対象とした職業観の醸成を目的としたコース＞

- ①職場見学（来社型）コース
- ②職場体験実習（来社型）コース
- ③出前キャリア教育（訪問型）コース

＜小学部を対象とした職業への気づきを目的としたコース＞

- ④聴覚支援学校環境教育（訪問型）

## ① 職場見学（来社型）コース(500人/年)

障がい者が働く特例子会社において、働きやすい職場や業務の工夫、働くために養って欲しい力等について座学を行った後、実際、障がい者が働く職場を見学。障がいのある社員がどのように工夫や努力をして仕事を行っているかを学び、仕事への理解と職業意識の向上に結び付ける。



座学の様子



見学の様子

## ②職場体験実習（来社型）コース(100人/年)

障がい者が働く特例子会社において、会社における働きやすい職場や業務の工夫、働く為に養って欲しい力等について座学を行った後、生徒の障がいや意欲に応じた職場で実習体験を実施。

社員と同じ職場で1～3週間の実習を行う。実習を通じ、働く事のイメージを掴み、仕事の厳しさや、やりがいを感じてもらおうと共に、勤労・職業についての理解を深める。



実習の様子

### ③出前キャリア教育（訪問型）コース(20校/年)

全国の聴覚支援学校（中高等部）を障がいのある社員が訪問し、講師自らの体験を基に、キャリア教育を実施。社会人としての基本的な就労や生活習慣について講義し、職業観の醸成を促す。また、実際に会社で行っている作業を体験するグループワークを通じ、仕事のための知恵やチームワークの大切さを習得する。



講義の様子



グループワークの様子

## ④聴覚支援学校環境教育（訪問型）（30校/年）

全国の聴覚支援学校（小学部）をシャープ社員とNPO法人気象キャスターネットワーク※所属のキャスターが訪問し、基本的な手話を使って、環境授業を実施。

社会人が親和性高く授業をすることで職業への気づきを促すと共に、学校での学習（磁石や太陽電池）と社会での活用を結びつける。

※2004年2月13日設立。代表は藤森涼子氏。テレビやラジオなどの気象報道番組で活躍する気象キャスターが、気象・環境・防災教育を共同で行い、地球環境問題の解決に努める非営利団体



講義の様子



磁石を使った  
分別実験



太陽光発電実験

### (3)活動実績

全国からのご応募に応え37都府県で実施。受講者数は2,700名を超えた。

#### 【子ども達の発達に応じた4つのコース】

対象

- (専科)
- (高等部)
- (中学部)
- (小学部)

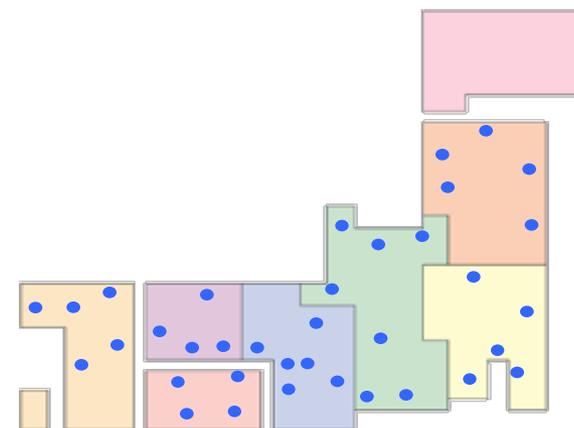
- ・ 職場見学コース
- ・ 職場体験実習コース
- ・ 出前キャリア教育コース

聴覚支援学校環境教育

職業観醸成の度合い

(2013年1月末現在)

#### 全国37都府県で実施



(活動実績)

※12年度は1月末まで

(延べ校、人)

	2009年度		2010年度		2011年度		2012年度※		累計	
	実施校数	受講人数	実施校数	受講人数	実施校数	受講人数	実施校数	受講人数	実施校数	受講人数
職場見学コース	-	-	-	-	-	-	156	843	156	843
職場体験実習コース	-	-	-	-	-	-	85	161	85	161
出前キャリア教育コース	-	-	-	-	-	-	22	575	22	575
聴覚支援学校環境教育	8	108	20	262	30	493	20	259	78	1,122
合計	8	108	20	262	30	493	283	1,838	341	2,701

## **(4)活動の工夫**

### **1. 活動の継続性**

- ・特例子会社の障がいのある社員(本業との兼務)を講師とする  
講師フォーメーションづくり
- ・定期的な研修等を通じ、講師の育成とレベルの維持・向上
- ・募集・実施・フォローまでの教育支援活動のスキームを構築

### **2. 授業の実効性向上**

- ・全国聾学校長会、特別支援学校等の教育機関と連携した  
新学習指導要領に準拠した授業カリキュラムの作成
- ・学校の意見や生徒の感想を踏まえた授業内容のブラッシュアップ  
(PDCAサイクル)

### **3. 会社リソースを活用した特長ある授業**

- ・教育の場として障がい者が働く特例子会社の活用
- ・講師として障がいのある社員の参画
- ・授業教材としてソーラーや特例子会社の機材を活用し、実体験や  
グループワークの取り入れ
- ・「小学校環境教育」で培った学校での授業ノウハウの活用

## (5)効果・評価について

### ①学校からの評価

障がいを持ちながら働いている社員が講師を務めていることや企業の目線から社会人に求められる基本的なスキルなどが実感を持って生徒に伝わり、アンケートでは、授業が有意義と高く評価頂き、実効に繋がっている。

#### (主な学校からの声)

- ・ 仕事への憧れや就労意識を持つ事の大切さを実感できるカリキュラムだった。
- ・ 社会や会社の事を障がいのある社員が実際の経験を踏まえて伝えてくれた事で、働く為に必要な日常生活習慣等、教師から教えるよりも生徒の心に響き良かった。
- ・ 障がいを持ちながら働き、自立、社会参加する方の姿を見せて頂き、大変有難い。
- ・ 企業の目を見て「欲しい人材」を伝えて頂けた事は、生徒の学習や生活態度のモチベーション向上に繋がった。
- ・ 地元でも見学さえ受け入れてくれない企業も多く、見学も含め幅広く取り組んで頂けるのは、有難い。
- ・ 小学部では外部の社会人との接触が少なく、職業を知る意味でも良い環境授業だった。

#### 学校からのアンケート評価 (2012/4～2013/1末到着分)

	回答	有意義だった	今後も応募したい
職場見学コース	88校	88校	88校
出前キャリア教育コース	15校	15校	15校
聴覚支援学校環境教育	11校	11校	11校
職場体験実習コース	81人	77人	-

※職場体験実習コースについては実習をした生徒がアンケートに回答。

## ②生徒や保護者からの評価

障がいのある社員が企業の中で工夫しながら自立して働く姿を知る機会は少なく、生徒や保護者が、就労に向け身につけるべき意欲や生活態度を具体的に知り、職業観を醸成することに繋がっている。

### （主な生徒からの声）

- ・ 社会人としての生活リズムや職場におけるルールを体感する事ができた。これからも将来のために自分ができることを探していきたい。
- ・ 最初は作業が難しかったが、現場の人たちの指導を受けて、練習を重ねれば上手くできるようになるということを実感できた。
- ・ 障がいがあっても諦めないことが必要だと思った。
- ・ 働くことで自立した生活を送ることが幸せであると感じた。
- ・ 働く為にはチームワークやコミュニケーションが大切なことが分かった。
- ・ 働くことは大変だと考えていたが、授業後、働いて社会の役に立ちたいと思った。

### （主な保護者からの声）

- ・ 頭では分かっていたつもりだったが、分かっていたことに気付かされた。本当に大切なことを分かりやすく伝えて頂き、良かった。
- ・ 講師が「自信を持って」と繰り返したことが、障がいのある子供を勇気付けるためにとっても良かった。

## (6)波及的効果

- ・活動に対するメディアの取り上げも多く、社会的関心の高い取り組みとなっている。またメディアを通じ、広く社会に障がい者へのキャリア教育の重要性を知らせるきっかけともなっている。

(2012/4～のメディア取り上げ数:11件)

- ・講師を務める障がいのある社員からは、「自身の会社での経験が社会に役立てた」等の声が聞かれ、障がいのある社員自身においても働くことへの誇り・本業へのモチベーション向上に繋がっている。

## 4. 今後の展開

- **活動の継続**

学校からの応募に対し確実に実施していく。

- **新たなチャレンジ**

視覚支援学校での教育支援活動のトライアル展開。

### 大阪市立視覚特別支援学校でのトライアル授業の様子



手回し発電機で送風機を動かし、風で電気を作る大変さを感じます



パネルに手をかざし、熱で光が当たっている事を確認しながらの発電実験

これからも次代を担う子供たちのために・・・。

**SHARP**